



2004年

新年あけまして

おめでとうございます。

今年は、年末から年始にかけて(12/31～1/1)お休みをさせていただきました。ありがとうございました。

期間中、サービスを必要とされた方には時間帯の変更など、多少のご無理をお願いしましたが、訪問介護が10件・通所介護が0件・宅老所(泊まり)が2名・家政婦さんは通常通り、となりました。スタッフの頑張りに感謝いたします。ご苦労様でした。

新年もはや一週間を過ぎました。今年はとても暖かく気持ちの良い初詣ができたことでしょう。世相は色々厳しく、不安な事が増えています。身近な介護保険の見直しもそのひとつ。

机上の数字合わせでなく、真に困っている人が救われるような見直しがなされるのでしょうか。事業者として、“福祉”を仮面にしないように又、自分の良心に恥じないように日々を過ごすことを目標にスタッフとともに頑張りたいと思っています。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



デイ・サービス利用状況(定期利用者数)

月	火	水	木	金	土	日
8名	7名	7名	7名	5名	6名	5名

何をお願いしたのかしら?
1月2日、初詣:



今年のご目標 by スタッフ一同

**たくさん笑い
たくさん歌う
たくさん話して
たくさん泣いて
ちょっとだけ喧嘩もして
そして元気良く運動
そんな一年にできたらいいな!**



精神障害者ホームヘルパー養成講習会に参加してきましたよ～。(その3)

●●●気分障害(特にうつ病)についてとその事例●●●

うつ病・・・最近、雑誌やテレビなどでよく取り上げられるようになり、皆さんの耳にも馴染みがある病名だと思います。医学的には気分障害といい、大きく分けて2つの病気があります。1つはよく聞くうつ病、もう1つが双極性障害(躁うつ病)です。

事例として、介護疲れがきっかけで“うつ病”になってしまったという話を取り上げてみました。

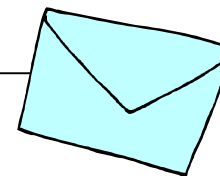
A子さんは、寝たきりの母親の看病疲れから、何をやるにも億劫になり、不眠、食欲の低下、そして「死んでしまいたい。」と考えるほどになってしまったのですが、「私が死んだら、母の面倒を見る人がいなくなってしまう。」という思いから、死ぬことは思いとどまり、やがて自然に回復しました。

その後、元気になったと思われたのですが、また不眠が起こり、思い当たる原因もないのに気分が憂鬱になり、元気だった時には午前中に終わらせていた家事も、布団から出るのが億劫になり、一日中横になることがおおくりました。

当初、A子さんのご主人は単なる怠け癖だと思っていたようですが、あまりにも辛そうなので、かかりつけ医に相談したところ、精神科受診を勧められました。その結果、うつ病と診断され、医師の指導のもと服薬により回復したそうです。

うつ病は、ストレスにさらされれば誰でもなる可能性がある、いつみれば心の風邪のようなものです。悲しいことがあったり、大きな失敗をしたときなどは、誰でも食欲がなくなったり眠れなくなったりしますが、うつ病はこれがひどくなって、そのまま治らなくなってしまった状態をいいます。

A子さんは、ご主人が早く気づき、適切な治療で回復することができました。一般的には精神科にかかることを名誉だと思ふ人はいませんし、薬を飲みたい人もいないと思いますが、おかしいと思ったら専門の方に相談することをお勧めします。



N家の介護便り 第1通

仕事帰りだった娘(私)に、家族から連絡が入った。私は、電話を切った後、家とは違う方向へ向かうことになった。平成15年8月11日(月)我が家の大黒柱のお父ちゃんが、名古屋第二赤十字病院の救急救命センターに搬送されたのです。

どうやら、仕事中に訪問先のおばさんに挨拶したと同時に意識が無くなり、昏睡状態に陥ってしまったらしい。

私は、焦っていたのに、なぜか、すごく冷静な運転をしていた。(・・・という記憶)

お母ちゃんの出産にも立ち会わず、親友の入院見舞いでさえお母ちゃんに任せっ放しにしていた昔からの筋金入りの病院嫌いのお父ちゃん。そんなお父ちゃんがベッド上で完全武装して目を閉じていた。完全武装は当たり前。なんたって、左脳の視神経と交差する頰動脈瘤が破裂!! つまりは、くも膜下出血。

SCU(脳卒中センター)の集中室で酸素マスク・呼吸器・点滴の管のオンパレード、そしてバルーン装着(おしっここの管)。家族みんなが面会時間ギリギリまで昏睡状態のお父ちゃんの耳元で絶えず声を掛け、刺激しないような微力でお父ちゃんをさする・もむ・たたく・・・。

その効果?成果?なのか低下していた状態が安定し、翌日には手術。長時間の手術を乗り越え、次にやってきたのは、3週間にわたる肺炎・脳梗塞・肝機能障害との戦い。それをどうにか乗り越え、右半身マヒ 構音障害 失語症という障害産物を抱えましたが、お父ちゃんは、私達家族のところに戻ってきた。しかし、12日に手術をして、14日にはすでにリハビリが始まっていたのにはオドロキ!!

当のお父ちゃんの意識が回復したのは1週間も過ぎた頃。倒れた原因は、「後ろから誰かに刺された」と思い込んでいた始末。脳の中を大掃除してもらったので、少しは頑固気質がなおるかな・・・?と期待した私でしたが、『全く別問題です』と主治医に苦笑されました。